

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5- I -2

5- I -2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	ネガティブイメージの払拭
節	I.佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	2 正確な史実の普及	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県文化課、佐渡市総合政策課、佐渡市産業振興課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 ○ 無宿人と罪人が混同されるなど、誤認されている史実や鉱山独特のネガティブイメージの払拭に向けて、正確な史実の普及を図る。 【事業内容】 ○ 各種情報媒体による積極的な情報発信のほか、旅行・交通事業者、観光・世界遺産ガイド等の講習会等において正確な史実の普及を図る。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 正確な史実の普及に向けた取り組みを継続して実施する。		
これまでの取組実績	○ 出前授業、出張説明、講演会などで史実に基づいた説明を行い、市民の理解を深めた。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 講座や出前授業・出前講座など史実に基づいた説明を行う。 【R6年度実績】 ● 講座や出前授業・出前講座などで史実に基づいた説明を行った。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ B ・ C] ◇ 本事業は、啓発活動を継続していくものであり、令和6年度末までの定数的な目標は設定していないが、概ね計画通りに進んでおり、一定の成果が得られていることから、B評価とした。		
課題	■ 鉱山独特のネガティブイメージを払拭し、正しい史実を普及するには時間が必要である。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。